

海老名市立今泉小学校増築校舎整備に係る公募型プロポーザル提案評価基準

提案の評価方法

(1) 評価基準の適用

本評価基準については、一次審査及び二次審査において適用します。

(2) 評価方法

選考委員は、別記1及び別記2「評価基準表」の「評価の視点」に基づき評価します。

評価の段階の基準は次のとおり。

段階	評価の段階の基準	評価点
A	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が、実践可能かつ効果的であるなど、特に優れている。	配点×1.0
B	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が、実践可能かつ効果的であるなど、優れている。	配点×0.8
C	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されている。	配点×0.6
D	「評価の視点」の内容等に関して、やや不十分である。	配点×0.4
E	「評価の視点」の内容等に関して、不十分である。	0点

※一次審査・・・別記1に基づき評価 【80点満点】

二次審査・・・別記1及び別記2に基づき評価 【80点+20点=100点満点】

(3) 順位について

① 選考委員ごとに合計点に基づく提案者の順位を決定し、順位点を算出する。ただし、評価中に「E」がある場合は、当該提案者については、選外と取り扱うものとし、次の②から除外します。

② 順位点は次のとおり。

一次審査	1位…5点、2位…4点、3位…3点、4位…2点、5位…1点、6位以降…0点
二次審査	1位…5点、2位…4点、3位…3点、4位…2点、5位…1点

③ 選考委員全員の順位点の合計点に基づき、一次審査及び二次審査における提案者順位を決定する。

(4) 順位点と同じであった場合の取り扱い（一次審査及び二次審査共通）

次のとおり上位者を決定します。

- ① 評価基準表中の「企画提案」の合計点が高い者
- ② ①が同じであった場合、評価基準表中の「提案者の適格性」の合計点が高い者
- ③ ②が同じであった場合、提出された見積金額の低い者

【別記1】評価基準表（一次審査・二次審査共通 80点満点）

評価項目	評価事項	評価の視点	配点
提案者の適格性	業務実績	<u>類似事業の実績は十分か</u> ・同等規模の建設実績が豊富か。	10
	技術者実績	<u>類似事業の実績は十分か</u> ・同等規模の事業実績の経験が豊富な人間が配置されているか。	
企画提案	テーマ1	<u>既存建物を考慮した工事期間の安全性は適当か</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・工事期間中の仮設計画が安全性を考慮した提案がされているか。 ・安全性を考慮した配置提案がされているか。 <u>既存建物との一体感に配慮したデザインに対する基本的な考えからは適当か</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・既存校舎や体育館との調和が図られた提案がされているか。 ・フルインクルーシブ教育を推進できるような空間デザインを提案されているか。	20
	テーマ2	<u>学習環境を配慮した利便性に対する基本的な考え方は適当か</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・学習環境の利便性を考慮した配置及び空間が提案されているか。 <u>すべての児童が親しみを持って過ごせる共生性に対する基本的な考え方は適当か</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・すべての児童が安全に過ごせる空間が提案されているか。 ・フルインクルーシブ教育を推進できるようバリアフリー等が配慮された提案がされているか。 <u>地球環境配慮に対する基本的な考え方は適当か</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・エコで環境に配慮された内外装及び設備提案がされているか。	20
	テーマ3	<u>本事業における工期短縮への取り組みについて</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・工期短縮について具体的に提案がされているか。 <u>本事業における工事費用の低減への取り組みについて</u> ・提案内容が目的を的確に理解しているか。 ・工事費用の低減について具体的に提案がされているか。	20
見積書	見積金額		10
合計			80

【別記2】評価基準表（二次審査追加分 20点満点）

評価項目	評価事項	評価の視点	配点
提案者の適格性	プレゼンテーション	説明が明快で、業務への取り組み姿勢が強く感じられるか	10
	ヒアリング	質問に対する回答が明快で、当事業に対する理解が確かなものか	10
合 計			20